

**製品名: Chk1 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86205**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | 組換えウサギモノクローナル抗体  |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,IHC,ICC/IF,FC   |
| 反応性    | 人間   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | モノクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | 0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。   |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。   |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |  |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:20-1:50,FC 1:50-1:200 |
| 分子量  | Calculated MW:54 kDa; Observed MW:54 kDa                       |

**抗原情報**

|              |                 |
|--------------|-----------------|
| 遺伝子名         | Chk1            |
| 別名           | CHK1            |
| 遺伝子 ID       | 1111            |
| SwissProt ID | O14757          |
| 免疫原          | ヒト Chk1 の合成ペプチド |

**背景**

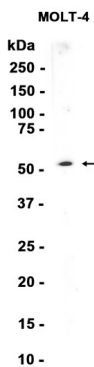
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリーに属します。DNA 損傷または未複製 DNA の

存在に対するチェックポイントを介した細胞周期停止に必須です。このタンパク質は、DNA 損傷応答に関与する2つの細胞周期タンパク質である ATM と ATR からのシグナルを統合する働きをします。ATM と ATR は、減数分裂前期 I においてクロマチンにも結合します。このタンパク質による CDC25A タンパク質ホスファターゼのリン酸化は、二本鎖 DNA 切断に対する細胞周期の進行を遅らせるために必要です。この遺伝子には、複数の選択的スプライシングを受けた転写バリエーションがみつかっています。[RefSeq 提供、2011 年 10 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



Chk1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した MOLT-4 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。